

AAF NEWS

VOL.16

2016
AUTUMN

ご協力いただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

CONTENTS

NEWS

TOPICS1

フィルムで水力発電による電気が使えるようになりました

TOPICS2

AAFが第5回自由都市・堺 平和貢献賞を受賞しました

INFORMATION

AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



再建された寄宿舎の前でお茶を飲む生徒たち

NEWS

ネパール中部大地震により被災したフィルムのブッダ・スクールの寄宿舎の再建工事が2棟まで完了。テント暮らしの生徒55名が入居しました。

>次ページに詳細を掲載

NEWS

ネパール中部大地震により被災したフィリムのブッダ・スクールの寄宿舎の再建工事が2棟まで完了。テント暮らしの生徒55名が入居しました

昨年末に崖崩れで遮断されていた山道が復旧され、年明けから資材の運搬を開始、1棟目の寄宿舎を1～4月、2棟目を4～7月に再建しました。その後3棟目の工事を7～10月で完了させる予定でしたが、雨季（6～9月）に入ってから、資材運搬が思うように進まず、特に足元が悪いと屋根の野地板に使う合板を運ぶのが困難なため、2棟目の庇と屋根工事だけが未了の状態です。10月のネパールのお祭りであるダサイン終了後に、工事を再開し遅くとも12月には完了させる予定です。

一方、大破はしなかったものの、一部の壁が崩れた厨房と便所はまだ全く手つかずの状態です。2度の雨季を経て傷みが激しくなっています。AAFは学校建設委員会と協議し、比較的短期間に修復できるであろう厨房の修復を早期に着手することを決定しました。壁の修復に合わせて、厨房内の環境改善のために煙突の設置も行います。便所についてはしばらくは現状のまま使用しますが、女子便所と男子便所を別棟にしたいという学校側の要望や、教室棟の増築などの将来計画を考慮し、建替えることも視野に入れて、検討していく予定です。



屋根工事が未了の3棟目の寄宿舎

9月中旬から下旬にかけて、AAFメンバーがカトマンズからフィリムまでの陸路での資材運搬ルートを確認したところ、車で通れる道の大半が舗装されていないため、雨でぬかるんだ道に車輪をとられてトラックやバスなどの大型車両は何度も立ち往生し、まともに走れない状態でした。徒歩でしか行けない山道に至っては、とても道とは言えず、地震で崩れた岩の上や、地滑りで割れた斜面をかるうじて通ることができるというところが何か所もありました。少しバランスを崩すと転落しそうな状態のため、雨季に合板のような面積のある資材を運搬することが大きな危険を伴うことは容易に想像できます。これから乾季に入り、多少状況は改善されると予想されますが、資材運搬に関しては十分な注意喚起を促す必要があります。



再建工事が完了した1棟目と2棟目の寄宿舎



とても道とは言えない崩れた岩の上を歩く



崩れたままの厨房の壁



地滑りで割れた斜面

TOPICS1

フィルムで水力発電による電気が使えるようになりました

昨年12月25日にフィルムから約6km南のジャガットという村に建設された水力発電所からの送電線工事が完了しました。これまでも小規模な水力発電や太陽光発電により、一部で電気の使用は可能でしたが、今回は一般の民家にも送電され、ある程度安定した電力が広い範囲で使用できるようになりました。ブッダ・スクールでは職員室と食堂に水力発電による電気を引き込み、太陽光発電と併用して照明器具やパソコン、プリンター等に使用しています。ブッダ・スクールでプリンターが使えるようになったことは画期的で、これまでは打合した内容や工事の指示も手書きで転写したり写真に撮って共有するしかなかったのですが、その場でコピーして関係者に配布することができるようになり、合意形成の効率化に大いに役立っています。

またブッダ・スクールの卒業生も現在2名が発電所の職員として働いています。

安定した電力供給は村人たちの長年の願いであり、生活の利便性の向上や公共施設の環境が整備されることは歓迎すべきことではあります。しかしその一方で街道沿いに鋼製の電柱が立ち並び、電線が張りめぐらされた光景は、ネパール政府が保護しようとしている美しいヒマラヤの自然景観を損なうものであることもまた事実です。



ジャガットの発電所



フィルム村の電柱と電線



職員室のパソコンとプリンター

TOPICS2

AAFが第5回自由都市・堺 平和貢献賞を受賞しました

AAFが「自由都市・堺 平和貢献賞」の第5回受賞者に選ばれました。同賞は、アジア・太平洋地域で平和貢献活動を行っている団体を表彰することで、国内外に国際平和の大切さを発信し、平和と人権の尊さへの理解、国際協力・貢献活動の促進を図ることを目的に、堺市が2008年に創設した賞です。

国内の有識者、学術機関等から推薦された受賞候補21団体の中から選考委員会による審査を経て、今回はAAFと広島を拠点に平和教育等の活動を推進するANT-Hiroshimaの2団体が受賞しました。

AAFは企業に勤めながら建築の専門家としてのノウハウを生かした活動を展開していることから、企業人への平和貢献活動の普及が期待できるとして高い評価を受けました。

7月23日に堺市役所の応接室で授賞式があり、竹山修身市長より表彰盾と賞牌を授与されました。授賞式では選考委員長である寺迫正廣氏(大阪府立大学国際交流センター長)から選考経過および授賞理由の報告があり、その後市長と選考委員長を交えて、それぞれの団体の活動や平和貢献への思いについて意見交換を行いました。



右から3番目が竹山市長、左端の2名がAAF

AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に設立した民間ボランティア団体です。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィルムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、ポカラの女子学生寮の建設支援など、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

設立以来15年間任意団体として活動した後、2015年4月に特定非営利活動法人の認証を取得し、現在に至っています。

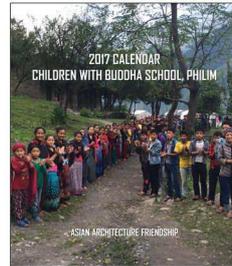
AAFの活動と実績

- 1999.10 竹中工務店設計部有志を中心としたメンバーでネパールを視察
- 1999.12 ネパールのヒマラヤ山麓の村、フィルムを調査
- 2000.03 ボランティア団体AAF(Asian Architecture Friendship)を設立、ネパールのフィルムにて学校建設計画をスタート
- 2001.10 草の根無償資金の供与を受け、フィルムの学校が着工
- 2003.04 フィルムに 'Buddha Primary&Secondary School (ブダ・スクール)'竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう!建築家のボランティア奮闘記」(彰国社)を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動-ヒマラヤの学校建設-」展を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤキャンパス・ポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出展
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィルムのブダ・スクール、ポカラのさくら寮がイタリアの建築雑誌 'domus'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出展
- 2009.05 フィルムの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 ブダ・スクールが第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後-AAFのNGO活動展vol.2」を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2011.09 UIA2011東京大会第24回世界建築会議にてフィルムの学校プロジェクトを発表
- 2011.12 フィルムに4棟目の寄宿舎が竣工
- 2012.09 フィルムの3期工事(厨房棟)が着工
- 2013.02 厨房棟が竣工
- 2013.12 引き続き教員宿舎が着工
- 2015.02 「ヒマラヤの学校建設15年の軌跡-AAFのNGO活動展vol.3」を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2015.04 AAFが特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を取得
- 2015.04 ネパール中部で発生した大地震により、ブダ・スクールが被災
- 2015.09 ブダ・スクールの被災状況について現地調査を実施
寄宿舎3棟と工事中の教員宿舎の壁が崩れ、修復不能な被害を受ける
- 2016.01 地震で被災した寄宿舎の再建工事に着手
- 2016.04 1棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2016.07 自由都市・堺 平和貢献賞受賞
- 2016.07 2棟目の寄宿舎の再建工事が完了

INFORMATION

2017年のAAFカレンダーができました

2017年のAAFカレンダーができました。
ご希望の方は1口1000円の寄付+送料をお願いいたします。
寄付1口につき、カレンダーを1部お送りさせていただきます。



卓上型・CDケース入り
サイズ12.5cm×14.1cm×0.9cm

>>>申込方法①: AAFの公式サイトのカレンダー申込ページ(下記)からお申込みください

<http://aafjpn.org/contribution/calendar2017/mousikomi>

>>>申込方法②: ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「カレンダー希望」と記入の上、寄付金(1口1000円)と送料をお振込みください(記入がない場合は通常の寄付扱いとなります)
※送料/1口:200円 2口:250円 3~4口:350円
5~8口:400円 9口以上:550円

AAFの賛助会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご協力によって成り立っています。

賛助会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの賛助会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。賛助会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。賛助会員になっていただいた方には会報「AAF NEWS」と「AAFカレンダー」をお送りさせていただきます。ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

>>>入会方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

>>>会費

一般賛助会員: 1口 5,000円(年額)

法人賛助会員: 1口50,000円(年額)

AAFへの郵便振替は下記口座をお願いいたします

>>>口座番号:00910-0-64819

>>>加入者名:AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報(AAF基金運用の目的以外)で使いません

編集後記

日本もネパールも復興への道のりは遠い。早く仮設住宅やテントを出て、元の生活に戻れますように T